

甲金文体の異体字の入力方法について

DynaSmart シリーズに収録されている「甲金文体」は IVS(Ideographic Variation Sequence) に対応しております。

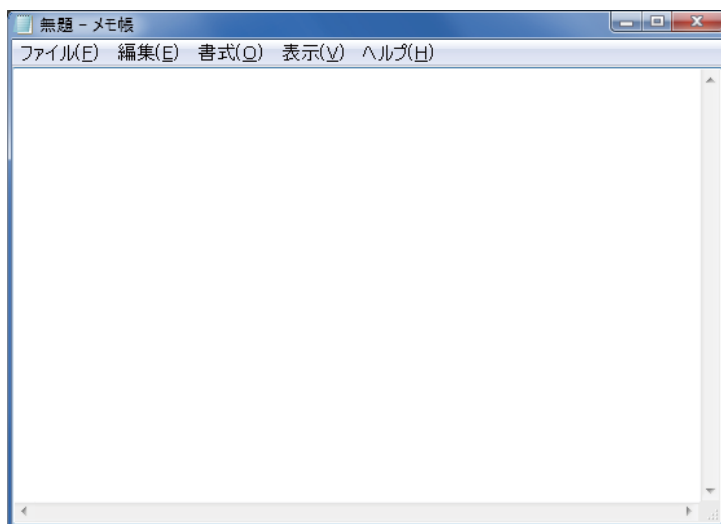
※ IVS とは、Ideographic Variation Sequence (漢字異体字シーケンス、略称 IVS) であり、漢字を表す Unicode の直後に、Variation Selector と呼ばれるコードを付加し、漢字の異体字を表現する方法です。

IVS が利用可能なアプリケーションには以下のものがあります。

- Windows7 以降標準のメモ帳
- Adobe 社の製品 (InDesign 等)

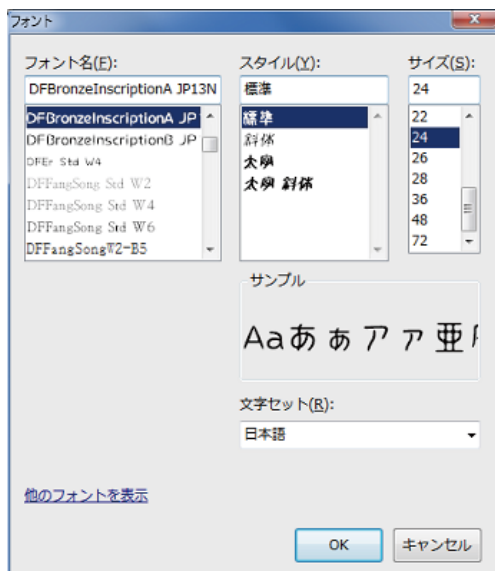
◆ メモ帳を利用する方法

① メモ帳を起動します。

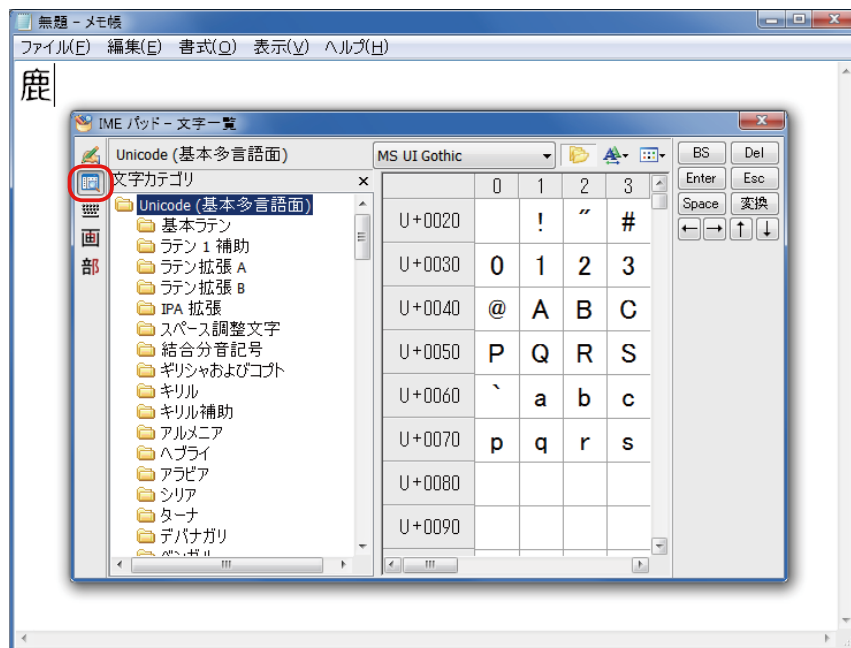


②入力前に、メニューから [書式] → [フォント] を選択し、IVS に対応したフォントに切り替えます。

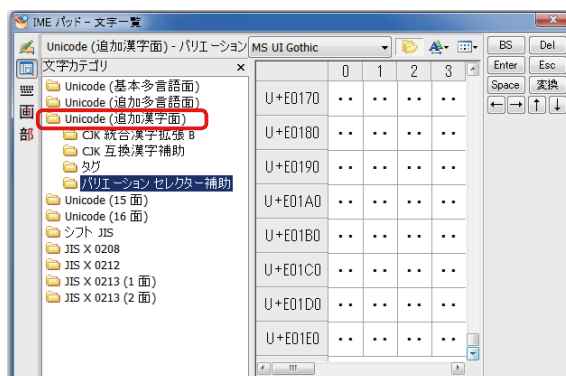
③フォントの設定画面が表示されます。フォントを「DF 甲金文体 (DFBronzeInscriptionA JP13N W6)」に変更します。



- ④フォントの設定の完了後、ここでは例として「鹿」という文字を入力します。入力後、[IME パッド] を起動し、[文字一覧] に切り替えます。

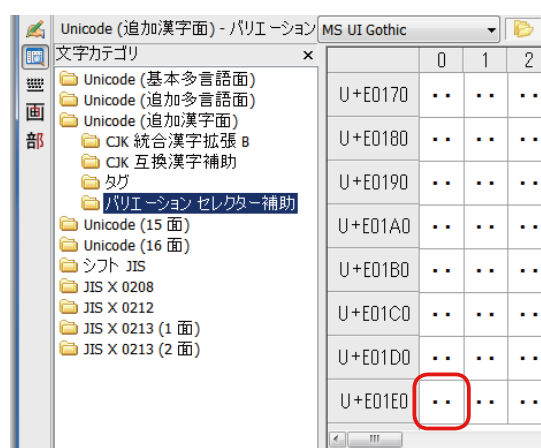


- ⑤ [文字カテゴリ] の中にある [Unicode(追加漢字面)*] をクリックして展開し、[バリエーションセクタ補助] を選択します。

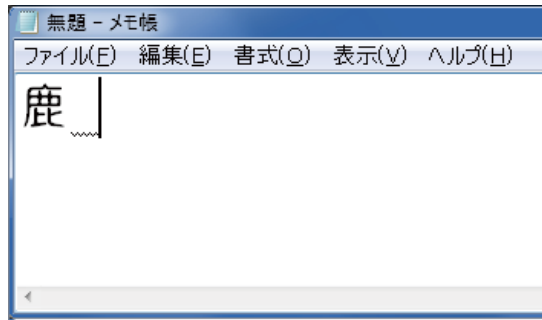


※ご使用の Windows(OS) バージョンによって多少表示が異なる場合がありますが、Windows 8/ 10 の場合、[Unicode(追加特殊用途面)] となります。

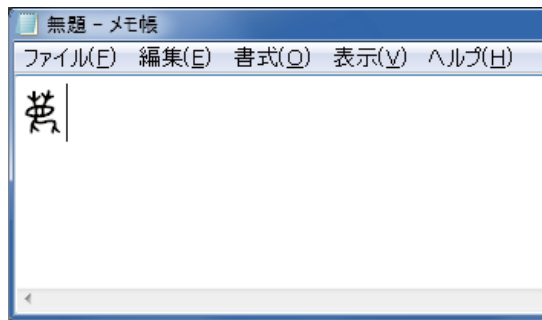
- ⑥ [メモ帳] で「鹿」の直後にカーソルを移動し、コード表の [U+E01E00] をクリックします。



⑦「鹿」の直後に未確定のスペースが表示されます。



[Enter] を押して確定すると、未確定のスペースが消え、異体字に変換されます。

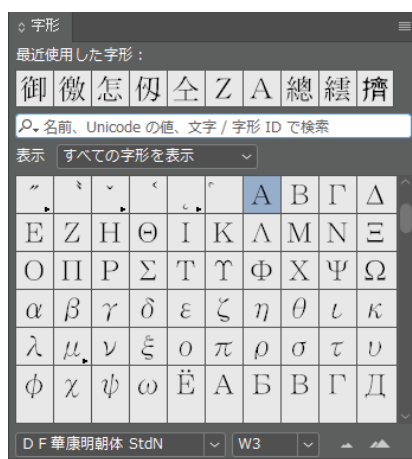


◆ Adobe 社の製品を利用する方法

Adobe 社の製品（InDesign、Illustrator など）では、入力の難しい異体字を簡単に入力できます。以下に Adobe InDesign CC で、親文字を異体字に置き換える方法について説明します。

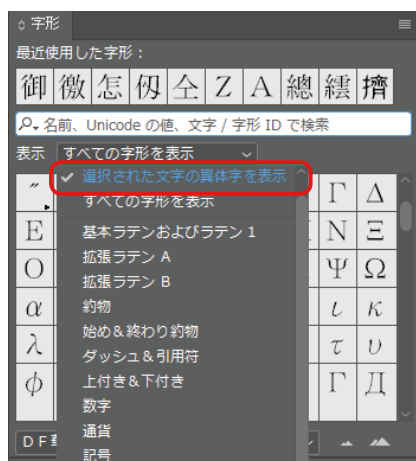
① InDesign CC を起動し、文書を開きます。

② [書式] メニューから [字形] を選択し、[字形パネル] が表示されます。



③ [字形パネル] で、フォントリストから「甲金文書体 (DF 甲金文書体 A StdN)」を選択します。

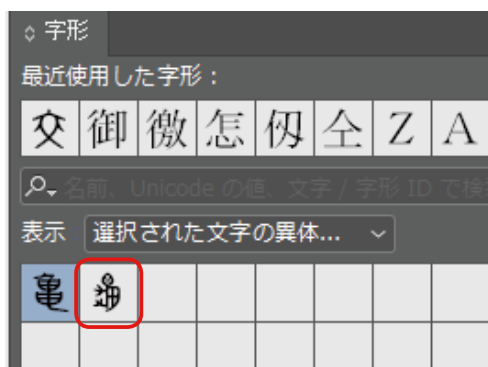
④ [表示] メニューから [選択された文字の異体字を表示] を選択します。



⑤ ここでは例として「亀」という文字を入力します。



⑥ 入力した「亀」を選択したままにすると、その文字の異体字が [字形パネル] に表示されます。



⑦ その異体字をダブルクリックすると、親文字が異体字に置き換えられます。

